

# 派遣報告書

平成24年2月13日

倉吉市議会議長 様

倉吉市議会

(代表) 議員

坂井 敏 (印)

次のとおり行政視察・調査を行ったので、その結果を報告します。

## 記

1	派遣期間	平成24年2月7日(火)から平成24年2月9日(木)まで
2	派遣先	大阪(1) 堺市所轄議会議員研修会(3) (2) 大阪工業
3	視察(調査)議員名	(2) 倉吉市副市長事務所 坂井 敏
4	面会者	(2) (3) は別添の通り
5	派遣目的	(1) 講師5名による議員研修 (2) 活動内容と運営上の課題について調査
6	視察の経過及び感想	(3) 現場発着の取費の可否について調査
別紙 詳細レポートの通り		
7	添付書類	研修会資料(昭体肉題研修所)
	(1)	
	(2)	出席者名刺一揃

課題について調査

要した経費： / 人合計 65,430 円



1. 議員研究会に参加

1-1 地方財政の基本的視察について特に興味深かったのは、この日補給金の廃止論に連動して一括交付金の必要性と、その場合は新子向問題についての話であったが、一括交付金以外にも、経費人件費の削減ができる可能性は残すのが、地方の自由度の拡大と共に自己責任を強化させるを得ること。さらに将来的な交付税の解体、再編に際して倉吉市としても財政を強化の為に絶えず事業見直し  
の必要性を感じた。

1-2 公共交通の再生については、キーワードとして高齢移動制約者の着目増大、買物難民、交通空白地域の解消、交通権の保障と交通基本条例の制定が不可欠という内容であった。公共交通がムダムダと廃止、福祉、観光、商業と一掃して整備して土台が揺らぐことにおそれ、不効率、不満は避けられない。福岡市の生活交通政策と生活交通条例等を参考とし、住民の移動権(交通権)の理念を明記し、行政と公共交通事業者と市民の協働の組織作りを早急に研究する必要があると感じた。

1-3 議会改革については、四日市市議会の先例、議長が議会活性化の実践発表があり、特に次の3点は、我が倉吉市議会でも検討を要すると感じた。  
① 議長の諮問機関として市政に与る諸課題について、自主的に意見交換し、交通認識を固め、市議会としての政策立案機能の向上を目指すこと。  
(全議員による市政活性化推進等議員懇談会の設置)  
② 通年議会について、議会の定例会の回数と年一回として会期を通年とするに、先例として、議決案件は原則として議長権限で審議可能なこと、そのほか、特別委員会という事で市長が臨時会を招集、付議案件の審査が可能であること、いつでも議会開催が可能であることと感じた。

③ 反対権(執行部が議員への逆質問)については議員の精度の高、質問も要求  
されることが多い。議員自身の考え、対策の提示、適用意の必要が生じ、中味濃い  
質問合戦は議会に緊張感と活力をもたらす。是非検討が必要であると考える。

2. 名古屋市南西事務所を訪問し

市役所と南西事務所間で話しておいた課題が多々あると感じた。

庁舎誘致、物販、観光、とびつとびスピード感が感じられる。役所と南西事務所間の  
指示命令系統の不明確さを感じると共に、政策の具体的展開と関係には南西事務所  
でかかっている各種課題に即応できる推進チームを役所内に立ち上げる必要を感じた。  
総裁割のなかでテーマ各部各課に預かる検討項目に迅速に対応できる対策を  
是非考えてほしい。

3. ダイヤモンド福祉サービス(株)を訪問し → 地元物産の販路拡大を目標に訪問、視察した。

農産物、鮮魚、高産物、調味料 などのほか、中小商品と見取対象としてもらうこと  
可能性はあるが、バイヤーとしての担当者には納得してもらうには、その商品が得意  
いのかを確信する為にも生産現場、加工現場、仕分け体制等について是非  
現地案内して頂きたい。いつでも出向く用意はあるという事であった。

今回は地元商品取扱業者と同行し(2回目)1回目の訪問の反省点を踏まえてさらに  
改良商品を提案しお話し、反応も良く3万人のダイヤ工業(株)社員や  
ダイヤ工業(株)社員OB、南連会社等への商品紹介の密度もよると予想され  
たいと期待されている。次回訪問も予定してゆくと思う。